

稲穂北に輝く にぎりめし



令和3年度 穂北中学校だより

8月号

穂北中HP

校長

伊東 泰彦



一学期が無事終了しました！

代表生徒との対話で一学期を振り返る



令和3年度の一学期終業式を七月二十日(火)に行いました。四月六日の始業式、三十五名の新入生を迎えた入学式でスタートした一学期は、コロナ禍の影響を受けた行事などはありましたが、昨年度のような休校措置はなく、概ね順調に学校行事や教育活動が実施できたとはっとしています。一人一台のタブレット配布やオンラ

イン生徒総会、ICT活用などの新しい時代の幕開けを感じ、活動の変化が始まった令和3年度でありました。生徒たちと対話を通して、実感している新しい教育の取組が述べられています。この一学期は様々なゲスト講師

【一学期で最も印象に残っていることは何か】

- オンラインでやった生徒総会。初の試みでハプニングもあったが、結果的には大成功の挑戦となった。(生徒会・三島直進さん)
- 職場体験の代替でしてもらった「校内ハローワーク」。たくさんの社会人の方々に来ていただき、たくさんの視点から多くのことを学ばせていただいた。(三年・青山美羽さん)
- タブレットを活用しての授業が始まったことや、自分のタブレットを使って調査・まとめをやった「さいと学」の取組は、新しいことに挑戦している感じがしてワクワク感があった。(二年・徳留由奈さん／一年・橋口紗季さん)

【四月から成長したと実感していることは何か】

- ・ 単元テストなどがこまめに行われるので、勉強時間が増えた。
 - ・ 先生からではなく、自分たちから注意をしあえるようになった。
 - ・ 自分で考えて主体的に行動できるようになり、挑戦する姿勢が身に付いてきた。
- など

に来ていただいたとき、生徒達とも対話をしていたのでよかった。その成果もあって、代表生の言葉で思いを表現して、自分という話しぶりに、この四か月の成長を感じたところ。ぜひこの夏休みも様々な経験から多くのことを学んでほしいと思います。

▼終業式に合わせ、各種の表彰も行いました。



県大会3位・藪押さん

無言清掃表彰・2年

多読賞・1年山本くん

「校内ハローワーク」を初実施！



オープニングトーク



市教委
福島さん



大石プロバン
大石哲也さん



市役所建設課
伊東修司さん



大石プロバン
大石哲也さん



市役所建設課
伊東修司さん



ふたば幼稚園
寺尾好洋さん



農業
橋口仁一さん



西都消防署
黒木俊輔さん



西都警察署
近藤 圭さん

七月七日、三年生を対象に、市内外から二十名の社会人に来ていただき、将来の生き方や自己実現の在り方について考えるキャリア教育プログラム「校内ハローワーク」実施しました。本来であれば、本校ではこの時期「職場体験学習」を行うのですが、「コロナ禍の影響を考慮し、今回は生徒が職場に向くのではなく、職業人の方々に北中に来ていただいで終日をかけて学ぶ場をセッティングしました。実はこれとほぼ同様の企画が昨年度も計画さ



クロージングトーク



倉谷也海さん 福丸智子さん



中山隆さん
(こゆ財団)



藤崎秀一さん
(西都市地域おこし協力隊)



ヴィアマテラス宮崎
の選手と交流する生徒

表現しようとする姿勢が伝わったのだと思います。5月にクロストークで来てくださったこゆ財団の中山隆さんからは「穂北中の生徒の様子が激変している。驚くほどに雰囲気が変わった。一体何があったのか」とお褒めの言葉をいただきました。主体的に考えたり



西都市建設業協会・青年部による体験学習

※この取組については、7月13日の宮日新聞にも掲載されました！

学校保健委員会で講話を行いました！

七月二日、参観日と併せて、全校生徒と保護者を対象とした学校保健委員会を開催しました。野菜ソムリエプロの大角恭代さん（小林市在住）を講師に招き、夏野菜の魅力（栄養や美味しさ）や中学生の健康・成長への影響などを熱く語っていただきました。きゆうりに占める水分割合（SSR）や丸かじり・縦切りの方が味が深いという話など、実践してみたくなる話題が豊富でした。また、大角氏自身のユニークなキャリア（「ユニーク全国」の支店長←田舎暮らしへの転身）についても語っていただき、有意義なキャリア教育の機会にもなりました。



生徒や保護者の皆様からもたくさんの感想をいただきましたが、多かったのは「野菜の魅力や価値をあらためて自覚し、早速食べてみようと思った」といった内容でした。生徒の中には野菜が苦手な子もいるようですが、皆一様に「野菜をこれまで以上に食べるようにしたい」と述べてくれました。

西都市は「やさいのまち」でもあります。ぜひ食育にも生かしてください。



体育大会の結団式を行いました！



赤白両団のリーダー



赤・白決定！

団長あいさつ

教頭先生から
団旗の授与

9月の体育大会に向け、生徒会保健委員会が中心となって結団式を行いました。

今年の団長は、黒木彪我さんと黒木健輔さんです。生徒会の企画によるフリースロー対決を行い、くじを引いた結果、「彪我さんの団が赤」、「健輔さんの団が白」と決定。教頭先生から団旗が授与されました。

夏休みを利用し、これからマスコット作成やダンス創作の準備などが進んでいきます。団長、副団長、リーダーそして実行委員の皆さん、頑張ってください！

穂波ゆる壽き田の里

【二次元考】三次元とは、一般的には、縦と横からなる二次元（いわゆる平面）に高さの奥行きを加えた次元、つまり現実の世界・空間のことである。ドローンが登場するようになって、様々な事象を三次元的に捉えることが可能になってきた▼前任の西白杵（特に日之影）のランドスケープ（景観）は、五ヶ瀬川が9万年かけて削った深いV字溪谷と尖った山岳が特徴のため、三次元で捉えた方がその魅力をより理解することができる。そのため、ドローン登場後はいわゆる鳥瞰図（ちようかんずい鳥の目のように高い視点から捉えた景観図）のような観光写真が増えてきていた▼西都市の地域おこし協力隊・藤崎秀一さんもドローンを活用しながら魅力的なランドスケープを発信しておられる方である。先日、藤崎さんを穂北中に招く機会があったので、「西都市をドローンで三次元的に捉えてみて魅力的な発見は何かありましたか」と質問してみましたところ、とてもおもしろい回答を得た。藤崎さん曰く「一番おもしろかったのは、西都原の古墳を上から見てみたら、本当に前方後円墳なんだ：つてあらためて分かったことです」▼何度も目にしてきた西都原の古墳だが、前方後円墳（前は四角、後ろは円）を知識として知っていても、その形を現実に認識することはこれまで容易ではなかった。ドローンによってもっと魅力的な西都原を発見する機会が増えてくるのかもしれないですね。

（校長 伊東泰彦）



ドローンから見る前方後円墳
※藤崎さん撮影

東京オリ・パラ応援メッセージに出演!



穂北中学校の2年生が、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン応援メッセージ（カナダへの応援）に出演しています。

県庁の「楠並木ちゃんねる」で検索し、同ページの「【カナダ】東京オリンピック・パラリンピック大会ホストタウン応援メッセージ」の動画をご覧ください。3分40秒～4分までの20秒間ほどですが、本校2年生の明るく爽やかな雰囲気を感じることができます。ぜひご覧ください。（公開期間：7/12～9/5）

※この動画はイオンモール宮崎のデジタルサイネージでも9/5まで公開されていますのでお知らせいたします。

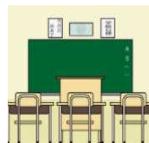
【8月の主な行事】

- 1日……オープンスクール（宮崎学園、日章学園）
- 2日……登校日、三校合同研修
キャリア教育「ひなた場」3年生
- 3日……オープンスクール（宮崎北高）
- 4日……体験入学（佐土原高）
- 6日……体験入学（高鍋農業）
- 7日……オープンスクール（宮崎学園）
- 17日……PTA生徒指導部会長会
- 25日……2学期始業式
親子共汗作業（1年）
- 26日……五教科グランプリ
親子共汗作業（2年）
- 27日……親子共汗作業（3年）
- 30日……防災安全教室

1年生が作ってくれた「4行詩」を紹介

教室（萱島紗依）

私の落ち着く場所
それは教室
教室はまるで
友達のようにだ



雨（大野心夏）

今日は雨が
降っていた
空が
泣いているようだ



君のストレート（堀田剛琉）

君のストレートは
空気を切るように
キャッチャーミットに入った
すべてストライクだった

